

南第1高齢者支援センター ニュースレター

2019年 2月3月号 偶数月発行

東急電鉄が見守りネットワークに登録されました

町田市では、地域の高齢者を支えていくための仕組みのひとつとして、見守りネットワークまちだと称し、民間事業者と警察署、市との見守りに協定を結んでいます。



『見守りネットワークまちだ』は民間の事業者が、日常業務の範囲内で高齢者や高齢者宅に異変を感じた時に、市役所や高齢者支援センターなどにお知らせいただく協定です。例えば、水道・電気・ガスの検針員、新聞配達員、郵便事業者などは、定期的に高齢者等の自宅を訪問していることから、いち早く異変に気づく可能性があります。また、地域住民が日常的に利用する地元の商店、スーパー、銀行なども来店時の異変に気づくことが出来るかもしれません。

町田市ではすでに64の協力事業所があり、550か所を超える加盟事業者がおります。

今回協定を結んだ「東京急行電鉄株式会社」他、「三和」や「ヤマト運輸」、「郵便局」「セブンイレブン」近隣では「ミナミ美容院」なども登録事業所になっています。

地域の見守る目が増えることで、たとえ一人暮らしでも安心して生活ができるようになったり、地域のつながりが深まっていきます。登録事業所には、ステッカー（左上）や旗（右）が飾られています。お買い物やお出かけの際に、探してみてください。



買い物支援冊子 お配りしています。

町田市では、「町田の買い物支援に関する社会資源」冊子を発行しました。各種新聞や、広報まちだなどでも紹介されておりますので、ご承知の方もいらっしゃるかもしれません。この冊子には、各センターの職員が足でかせいだ買い物情報がエリアごとに掲載されており、買い物代行や付き添い、宅配サービスや移動販売、野菜直売所などの、お買い物に役立つ情報が書かれています。市役所や、高齢者支援センター、あんしん相談室で配布中です。ぜひご覧ください。

町田の買い物支援に関する
社会資源



町田市支え合い連絡会
町田市いきいき生活部高齢者福祉課
2019年2月